

平成23年度 保護者アンケート結果について考察（平成23年9月20日～9月27日実施）

1 学校全体のデータから

(1) 回答 279名（87%）全長子数320名

(2) 肯定的な評価（評価ABが80%を超える）

ア 学校全体について ベスト3

設問 4「本校は、児童の健康・安全面に配慮している。」 87%

設問 9「本校の教職員は、保護者・地域住民に誠意をもって接している。」 84%

設問 5「本校は、児童の体力をつけている。」 80%

イ わが子について ベスト3

設問 10-①「わが子は、生き生きとした学校生活を送っている。」 93%

設問 10-⑤「わが子は、健康で体力のある子に育っている。」 82%

設問 10-③「わが子に、思いやりの心など優しい心が育っている。」 82%

- 約9割以上の児童が、楽しく学校生活を送っていると保護者は評価されています。
- 板城小の児童は、健康で生き生きと生活しているという評価をいただきました。
- 教職員が日々、体育の授業づくりや体力づくりを研究している成果が出ていると思います。また、誠意ある対応ができるよう努力していることが理解され、喜んでいます。

(3) 否定的な評価（評価CDが30%を超える）

ア 学校全体について ベスト1

設問 2「本校児童は、明るい挨拶ができています。」 要努力61%

設問 6「本校は児童の学力をつけている。」 要努力31%

イ わが子について ベスト3

設問 10-②「わが子は、明るいあいさつができています。」 要努力45%

設問 10-④「わが子は、自分の思いや考えを話す力がついている。」 要努力41%

設問 11-④「わが子は、将来の夢や志をもっている。」 要努力33%

- 特に気になる課題は、昨年に引き続き「あいさつ」です。  
習慣化をめざして繰り返し指導していきませんが、特に登下校や家庭でのあいさつができないようです。高学年への指導や月毎のあいさつリーダー学級を決めて、意識付けをしています。
- 次に課題となるのが「本校は児童の学力をつけている。」です。  
今年の5年生基礎基本状況調査の結果が、県・市の平均通過率を下回っていたことを、ホームページや学校だよりで公表したためだと思います。朝のチャレンジタイムを設定して、全校で繰り返し学習（国語・算数）を進めています。
- 3番目に、昨年も課題になっていた「自分の思いや考えを話す力」です。  
「話す力」を育てるために、各学級のスピーチや朝会時の詩の朗読などの学年発表を実施しています。自分の考えを書いてから発表するなどのノートの使い方指導を進めています。
- さらに「将来の夢や志をもっている。」ことについては、肯定的な評価が増えてきていますが、引き続き、体験活動を大切にして、人・行事・自然などとかかわることを進めています。